

緑の風 FAX版



NO. 88 2021年5月11日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

教科書から消えてしまう!?

「従軍慰安婦」「強制連行」は不適切表現である
という**答弁書**が**閣議決定**されていました。(2021年4月27日)

政府は、『「従軍慰安婦」という表現は適切ではなく、「慰安婦」という用語を用いるのが適切だ。』『先の大戦中に行われた朝鮮半島から日本本土への労働者動員について「強制連行」との表現が不適切だ。』という、日本維新の会の馬場衆院議員の質問主意書に対する答弁書を閣議で決定しました。



文部科学省の教科書検定では「従軍慰安婦」という表現を使った教科書はすでに合格し、使い始められています。そのことについて文部科学省は「今回の閣議決定は今後の検定に反映される」との考えを示しています。

第2次大戦中の朝鮮半島から日本本土への労働者の動員を「強制連行」とひとくくりにする表現も適切でないということですが、本当にそうなのでしょうか。

全ての閣議決定の内容などの決定事項が全て報道されるわけではありませんが、私たちの生活や、これまでの歴史や学んできたことなどに影響を与える事柄がたくさんあります。

私たちの生活や教育は、政治と無関係ではありません!

常に意識を持って生活していきましょう!